

高田市民協対市交渉開催！医療・介護要求から敬老のお祝い品まで、多岐にわたり意見交換。



(PHOTO 左)「敬老の日のお祝いの飴は不評ではないか？」との意見も飛び出した大和高田市キャラバン交渉

11月7日、2018年自治体キャラバンとして、高田市民協が大和高田市と懇談を行いました。懇談には市民協から21人が参加。年金者組合からは竹花支部長が参加しました。懇談は市民協が提出した要望書に対する市の回答をもとに、市各部局の参加時間に合わせて3部に分けて行われました。国保料は、平成30年度から3年間据え置かれますが、その先の県統一保険料となるまでの3年間は、ラストチャンスとして莫大な繰越金・基金を使って、引き下げるよう改めて要望しました。

子育て支援では、保育時の紙おむつの持ち帰りを他市に学んでなくすことや、子ども乗せ3人乗り自転車購入への補助金制度を設けることなど、人口減少が続く中で、子育て世代が高田市に住みたいと思えるような施策の充実を求めました。福祉関係では、生活保護のケースワーカーが昨年同様3人不足のままとなっていることの早期解消を求めました。また、敬老のお祝いの飴をゴミ袋等実用的なものにという要望に対しては、「飴」に対する苦情が寄せられていることや、コストの問題などが吐露され、市としても苦慮している様子が感じられました。竹花支部長は小中学校へのエアコン設置が決まったことに関連して、市内業者に施行を発注するよう要望しました。その他、介護保険・高齢者施策の改善、消費税増税とインボイス方式の導入に反対すること、平和施策の充実などを求めました。

回答内容はこれまでとほとんど変わらないものが多いのですが、少しずつ前進している部分もあります。粘り強く要望し続けることが大切だと感じました。(大和高田市民協議長・松下光人)

学童保育への民間導入や貧弱な就学援助 子どもが多い街なのにひどすぎませんか？

香芝市キャラバン交渉で市民の本音がつぎつぎ！



(左) 香芝市のキャラバン交渉には 20 人を超す市民が参加 (右) 香芝の就学援助申請書には申請理由を記載しなければならない。

10月31日、自治体キャラバン香芝市交渉が行われました。地元のキャラバン隊から、国保、高齢者医療制度の改善、生活保護世帯へのエアコン設置、介護保険制度の改善、学校へのエアコン設置、就学援助制度の拡充、子ども食堂への援助の充実など切実な要望が出されました。特に子育て世代が多いまちにも関わらず、就学援助制度が他市と比べ大変遅れていることや学童保育への民間業者導入などの問題が山積していることが指摘され、要求が多く出されました。対市交渉に参加した土庫病院の野口 SW から感想が寄せられましたので紹介します

●香芝市の自治体キャラバンに参加して

今回初めて MSW2 名で参加しました。驚いたのは、要望に対する回答書の内容に誠意が感じられないことです。特に国保や生活保護を管轄する福祉健康部の回答は、通り一遍の同じ回答を羅列するばかりで、市民の要求に耳を傾けようという姿勢が感じられませんでした。また、出席していた担当者も資料を持参しておらず、その場の質問に対して具体的に答えることもありませんでした。

就学援助制度については、「申請しにくい」「自分が対象者だとわかりにくい」といった意見とともに、申請書の項目に『家庭の病気や状況など困っていることについて詳しく記入すること』とあり、「制度を利用しなければ学校にもやれないほど貧しいということを書かなければならないのか」と非常に辛い思いをされている訴えがありました。そんな中、就学援助費の支給について、「新入生学用品費」の支給時期が平成 31 年度入学児童生徒から平成 30 年度内（平成 31 年 3 月）に支給されることとなり、不足はあるものの運用の改善が実感できる内容もありました。土庫病院のある大和高田市でもぜひ実現させたい内容です。香芝市の対市懇談は 20 年続いていると知り、継続することの意義とともに、市民が生活しやすい行政にするために、今後のアプローチの方法も充実させていかなければならないと思いました。（土庫病院相談連携室 野口良子）

—2018 年奈良県自治体キャラバン日程—

11 月 27 日(火)10:00～葛城市／11 月 27 日(火)10:00～王寺町

11 月 30 日(金)10:30～河合町／12 月 27 日(木) 9:30～桜井市

※キャラバンに関するお問い合わせはこちら→0742-26-7135(実行委員会・竹末)